

学校だより



きらめく子ら

標茶町立中茶安別小中学校 No. 9 令和7年1月21日発行

3学期スタートです！

校長 西村 浩一

23日間の冬休みが終わり、ようやく校舎に子供たちの声が戻ってきました。新しい年を迎え、みなさまいかがお過ごしだったでしょうか。今年もどうぞよろしくお願いいたします。またスケートリンク造成に関わってくださいましたお父様方、寒い中の連日の作業、大変ありがとうございました。

ところで2学期後半に「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える」というリーフレットが届いていたかと思います。北海道教育庁から出されたものです。それを改めて見てみると次の4点について時間の目標値が示されています。

- ① 学習時間
小1…20分、小2…30分、小3…40分、小4…50分、小5…60分
小6…70分、中1…80分、中2…90分、中3…100分
※お気づきかと思いますが小1から順に学年×10分+10分となります。
- ② 運動時間 1日60分以上
- ③ 学習以外でメディアに触れる時間 1日合計2時間以内
- ④ 読書時間 1日まずは10分以上

いかがでしょうか。①の学習時間については本校でもお願いしてきているところではありますが、②の運動を含めて全てをこなすのはなかなか難しいかも知れませんが、例えば1日60分の運動時間。部活動や少年団、スポーツクラブなどに入っていれば、あっという間かも知れませんが、一人で黙々と60分以上運動し続けるとなると我々大人でもきついものです。ですからまずは縄跳び30回とか、できそうなところからやってみるといったことがポイントになるかと思います。まずはやってみる。そして習慣づける。習慣付いたら徐々に回数や時間を増やしていく。親はその様子を見て褒めたり励ましたり学年に応じた声かけをしていく。そんな流れが理想かと思います。

人は子供に限らず、時間に流されてしまいがちです。本来学習は学校で行うことですが、記憶の定着のためには家庭での振り返りが有効です。学習に限らず伸び盛りの子供たちご家庭でも時間を有意義にするためには、③のメディアに触れる時間も含め、それに向けた習慣化と家庭でのルール作りが助けとなります。その意味でもリーフレットに示された目標値は一つの指標として参考になるかと思います。裏面の学校評価では、「家での学習の習慣化」が課題の一つとして挙げられています。ぜひ、ご家庭でのお声かけをお願いいたします。

ところで今年の干支の巳年は、蛇が冬眠から覚め草木が芽を出すことと蛇が脱皮することから、「再生と誕生」を意味するのだそうです。他にも巳(み)と実(み)をかけて「実を結ぶ」とも言われるようです。ぜひ子供たちにとっても、私たち大人にとっても、こつこつと努力を重ね、ぜひ大きな実を結ぶ年になればと思います。

3学期も引き続きスタッフ一同子供たちのために精一杯力を尽くして参りますので、これまで同様、保護者・地域のみなさまの温かいご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

家庭や地域との連携を深め、知・徳・体をバランスよくほぐす

■ 2月行事予定 ■

日	曜	行事予定	給食	部活
1	土	週休日 町民スケート大会		
2	日	週休日 防犯スケート大会 町民憲賞書道展表彰式		
3	月	振替休業(小学校) ALT	中のみ	×
4	火	特別時程 スノートレッキング(小3・4) 4時間授業 図書館バス 学級討議	○	×
5	水	学力テスト(中学校) 議長打ち合わせ	○	×
6	木	特別時程 新入生体験入学説明会(新中1) 委員会答弁審議 総会リハーサル	○	○
7	金	特別時程 後期児童生徒総会	○	×
8	土	週休日		
9	日	週休日		
10	月	4時間授業 公立高推薦入試(面接) ALT 小学校朝会 健康相談週間(~22日)	○	×
11	火	建国記念の日 北海道新聞社杯児童スケート大会		
12	水	4時間授業 卒業式呼びかけ原稿配付・練習開始 新入生体験入学説明会(新小1) 出願変更状況発表	○	×
13	木	参観日・学級懇談 総合・生活科発表会(小学校) 学年末テスト範囲配布(中1・2) フッ化物洗口(小学校)	○	×
14	金	委員会(卒業生を送る会準備)	○	×
15	土	週休日		
16	日	週休日		
17	月	ALT 事務局会議(送る会準備)	○	×
18	火	図書館バス 事務局会議(送る会準備)	○	○
19	水	学校運営協議会(10:30~12:00 音楽室)	○	×
20	木	CCS 来校日(午後) 卒業式案内状発送 小フッ化物洗口	○	○
21	金	学校便り発行 読み聞かせ(小6) 委員会(卒業生を送る会準備)	○	×
22	土	週休日		
23	日	天皇誕生日		
24	月	振替休日		
25	火	全校朝会	○	○
26	水	ノー残業デー	○	×
27	木	学年末テスト(中1・2) 読み聞かせ(小1・2) 事務局会議(送る会準備) フッ化物洗口(小学校)	○	×
28	金	学年末テスト(中1・2) 委員会(卒業生を送る会準備) 再出願後の出願状況の発表	○	×

※予定が変更になる場合もあります。各学年の時間割にてご確認ください。

学校ホームページ 随時更新中

日常の学校の様子は、トップページのフォトアルバムからご覧いただけます。検索サイトで「中茶安別小中学校」と検索するか、右記QRコードよりアクセスしてご覧ください。



後期学校評価アンケート 結果

4 (そう思う) 3 (少し思う) 2 (あまり思わない) 1 (まったく思わない)

No.	質問項目(簡略化)	児童生徒		保護者		教職員		平均	
		7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月
家庭・地域連携	1 家庭への情報発信	3.8		3.9	3.8	3.9	4.0	3.9	3.9
	2 学校評価による改善	3.3		3.8	3.7	4.0	3.8	3.7	3.8
	3 学校・家庭・地域の考えの共有	3.3		3.5	3.5	3.8	3.5	3.5	3.5
確かな学力	4 学力向上に向けた授業改善	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.5	3.7	3.7
	5 興味・関心を高める授業の工夫	3.6	3.6	3.8	3.8	3.8	3.9	3.7	3.8
	6 家での学習の習慣化	3.4	3.2	3.6	3.8	3.5	3.6	3.5	3.5
豊かな心	7 体験活動による豊かな心の醸成	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7
	8 子どもの道徳性の育成	3.6	3.7	3.5	3.4	3.8	3.5	3.6	3.5
	9 子どもの自主性の育成	3.8	3.8	3.8	3.7	3.6	3.2	3.7	3.6
	10 命を大切にす指導	3.6	3.8	3.7	3.5	3.9	3.8	3.7	3.7
健やかな体	11 安全指導の充実	3.6	3.8	3.8	3.6	3.8	3.8	3.7	3.7
	12 子どもの体力の育成	3.7	3.8	3.6	3.5	3.6	3.5	3.6	3.6
	13 望ましい生活習慣の醸成	3.5	3.2	3.5	3.7	3.4	3.5	3.5	3.5

2学期末に実施させていただいた今年度2回目の学校評価アンケート結果をお知らせいたします。4段階評価ですので3.0以上が概ね良好となりますが、3.5以上を良好ととらえ緑で表示し、逆に3.0を下回るものを早急な課題としてとらえています。その中で、1回目から2回目にかけての数値の変化から課題として捉えられる項目を橙で示しています。

「家での学習の習慣化(児童生徒 3.4→3.2)」に向けては、子どもたちが自主的に学習に取り

組むことができ、保護者や学校が適切にサポートできる仕組みを整えることが重要です。小学校3年生以上で家庭学習計画表を活用しながら、家庭学習の計画を自分でたてる習慣を身に付けさせていきます。「子どもの自主性の育成(教職員 3.6→3.2)」に向けては、子どもたちが自ら考え、選択し、行動する機会を増やし、そのプロセスを支援する環境を整えることが重要です。自主性を育てることができるのは学校生活のどの場面かという視点で、教育活動全体を見直して参ります。また、「望ましい生活習慣の醸成(児童生徒 3.5→3.2)」に向けては、健康問題を自分事としてとらえ、主体的に改善していく姿勢が求められます。目的意識の明確化や達成可能な目標を設定するなど、学校活動の中でも働きかけていきたいと思ひます。

【自由記述欄(保護者)】

○子供1人1人のペースにあわせて工夫をしたり、時にはマンツーマンで教えてもらっていてとても有り難いです。

○個々の状況、能力に合わせて親身に対応して頂きありがたい。

→子どもたちが学びに向かう意欲を保ちながら、それぞれの個性や成長段階に寄り添うことを大切にしています。今後もさらに工夫を重ね、子どもたち一人ひとりが安心して学べる環境を整えるよう努めてまいります。

○いつも子どもたちのために様々な工夫をしていただき、感謝しています。

→子どもたち一人ひとりが安心して学校生活を送るとともに、自らの可能性を伸ばせるよう、日々の教育活動に工夫を凝らし、全力で取り組んでおります。これからも、子どもたちの成長と笑顔のために、創意工夫を重ねながら取り組んでまいります。

○忙しい時間の中を割いて保護者との時間を作り、子供がイヤにならないように試行錯誤して保護者とのやりとりもしてくれて本当に有り難いです。

→保護者の皆さまと連携しながら、子どもたちの成長を支えていくことが、学校としての大切な役割だと考えています。その取り組みを評価していただいたことを、とても嬉しく思います。今後もさらに、保護者の皆さまとの信頼関係を大切にし、引き続き協力していけるよう取り組んでまいります。

○スケート少年団が今年から親に一任になりましたが、もう少し学校側にも力を入れて頂きたい。それこそ、地域、学校、親でやるべき事だと思う。

→スケート少年団の運営に関しましては、昨年度の保護者会で話し合いを重ねた上で、保護者の皆様に一任する形で進めることを合意いただきました。しかしながら、その後も学校として何が出来るかを考え、今年度はスケートが得意な教諭が指導者として関わり、子どもたちの活動を支えるよう努めております。また、現在、町全体で部活動や少年団の地域移行が進みつつあり、今後は地域・学校・保護者が連携しながら運営を進めていく必要性が高まってくると考えております。次年度以降におきましては、さらにご理解とご協力をお願いする場面が増えることが予想されますが、子どもたちにとってより良い活動環境を整えるために、学校としても引き続きできる限りの支援を行ってまいります。